

本會評議員

故岩瀨德藏君小傳

君は明治八年埼玉縣人熊谷順次郎氏の三男に生れ後岩瀨家を襲ぐ明治三十三年東京帝國大學採鑛冶金科を卒業し翌年四月北海道炭鑛汽船株式會社技師に就任し同四十年五月夕張第一坑長を命ぜられ孜々として同社採炭事業の發展に従事する事十有五年。大正五年一月同社を辭し。同年三月日支合辦滿洲本溪湖煤鐵公司に入社同十一年一月同公司總辦に就任し。幾多の困難を克服して同處今日の隆盛を見るの基を開けり。昭和三年四月同所を退き同月大倉鑛業株式會社常務取締役就任し同五年七月同社專務取締役に進み同十年六月停年に依り同社を勇退するに至る迄同社の樞機に參畫し其間北樺太鑛業株式會社及入山炭坑株式會社取締役の外大濱炭鑛株式會社取締役社長として活躍し尙ほ大倉組勇退後大同産業株式會社。大同生藥工業株式會社。國產輕銀工業株式會社の三社取締役として今日に至れり

本會對しては昭和七年四月より同十三年四月迄三期間評議員として盡力せられ。その明朗潤達にして談論風發の概ある常に會合に活氣を添えられたるは吾人の記憶に新なる處なり。本年十一月一日不幸病を得忽焉として長逝せらる。誠に痛惜に堪えざるなり

社團法人 日本鐵鋼協會